

## 精神療法 第50巻 総目次

2024年（通巻260～265号）

## [巻頭言]

|                               |              |
|-------------------------------|--------------|
| 私の臨床実践—生きることの意味を求めて           | 張 賢徳 4(1)    |
| 了解について                        | 古茶大樹 146(2)  |
| 「なじむ」ということ                    | 池田暁史 312(3)  |
| 日本におけるエビデンスに基づく心理支援の実践の普及に向けて | 戸ヶ崎泰子 478(4) |
| 言葉の謎と精神療法                     | 福田正人 642(5)  |
| 状況論的・生涯縦断的視点を打ち出す ICD-11      | 加藤 敏 810(6)  |

## [特集]

|                                             |                 |
|---------------------------------------------|-----------------|
| 特集：箱庭療法——新たな発展に向けて<br>対談                    |                 |
| 箱庭療法——新たな発展に向けて                             | 山中康裕・下山晴彦 7(1)  |
| I 箱庭療法の現在と未来                                |                 |
| 国際箱庭療法学会（ISST）と日本国際箱庭療法士協会（JISST）の現況と未来への課題 | 名取琢自 21(1)      |
| 箱庭療法の現在とこれから                                | 長谷川千紘 26(1)     |
| 箱庭療法に期待するもの——こころの深みへのアプローチとして               | 前川美行 30(1)      |
| いま、箱庭療法において考えること                            | 長野真奈 35(1)      |
| II 箱庭療法の新たな展開                               |                 |
| 箱庭療法から発展した MSSM と、その可能性                     | 細川佳博・細川美幸 40(1) |
| レジリエンスを引き出す箱庭の活用                            | 平野真理 47(1)      |
| 認知行動療法と箱庭                                   | 小倉加奈子 54(1)     |
| 統合的心理療法の観点からの箱庭療法活用                         | 東 斉彰 59(1)      |
| 箱庭療法の情報技術導入による新たな発展の可能性                     | 角 薫・角 康之 66(1)  |
| 〈エッセイ〉                                      |                 |
| 箱庭療法の今とこれから——原点をめぐって                        | 田熊友紀子 73(1)     |
| 2次元的な世界を生きる子どもたちと箱庭療法                       | 千原雅代 75(1)      |
| 箱庭世界はどこにあるのか？——緘黙ケースの治療から                   | 林 直樹 77(1)      |
| 砂と遊ぶ                                        | 原田誠一 80(1)      |
| ぼくの箱庭体験                                     | 荒井良二 83(1)      |
| 「瞑想箱庭療法」について                                | 大住 誠 84(1)      |
| 特集：共感と精神療法                                  |                 |
| 特集にあたって                                     | 林 直樹 149(2)     |
| 第1部 共感の理論的理解                                |                 |
| 精神療法における共感の多層性と展開可能性——Stein E の共感論を導きの糸として  | 林 直樹 151(2)     |

|                                                        |              |
|--------------------------------------------------------|--------------|
| 共感再考——自己，他者，そして関係性について                                 | 吾妻 壮 159(2)  |
| 共感を感情から切り離すことと共感の死角                                    | 村上靖彦 165(2)  |
| 脳神経科学的共感（neurobiological empathy）の可能性に向けて——認知症臨床の医療人類学 | 北中淳子 170(2)  |
| 進化心理学からみた共感                                            | 長谷川寿一 176(2) |
| 第2部 個々の精神療法理論における共感の位置づけ                               |              |
| 精神分析的臨床における共感                                          | 北村隆人 182(2)  |
| MBT（メンタライゼーションに基づく治療）における共感——臨床上の意義と留意点                | 西村 馨 188(2)  |
| セルフ・コンパッションは心理療法家に役立つのか？                               | 富田拓郎 194(2)  |
| 動機づけ面接における共感                                           | 今井淳司 200(2)  |
| 家族療法における共感                                             | 遊佐安一郎 207(2) |
| 〈エッセイ〉                                                 |              |
| 共感・感情移入のさまざまな理解——共感と empathy は同じなのだろうか                 | 佐藤晋爾 212(2)  |
| 「共感」とグループ                                              | 相田信男 214(2)  |
| 「内観」における「共感」を考える                                       | 真栄城輝明 217(2) |
| 地域精神医療と共感——ACT，オープンダイアログの実践から                          | 高木俊介 220(2)  |
| 自殺念慮の強い（共感の難しい）患者の治療                                   | 下園壮太 222(2)  |
| せん妄患者への共感                                              | 岸本寛史 224(2)  |

## 特集：わが国における家族療法の発展と課題

|                                                    |              |
|----------------------------------------------------|--------------|
| わが国における家族療法の発展と課題                                  | 中村伸一 315(3)  |
| わが国における家族療法の今までとこれから                               | 平木典子 320(3)  |
| 日本の家族療法の歴史                                         | 植林理一郎 325(3) |
| Bowen の家族システムズ論とソーシャルワーク                           | 福山和女 332(3)  |
| バイオサイコソーシャル・モデルと対象関係論的家族療法                         | 渡辺俊之 337(3)  |
| 生活臨床の家族史療法——数世代の家族史の文脈からもたらされた人生の行き詰まり解消を目指す「作戦会議」 | 伊勢田 堯 343(3) |
| 家族心理教育の今後と課題                                       | 後藤雅博 348(3)  |
| 家族療法とシステムズアプローチ                                    | 吉川 悟 353(3)  |
| 児童・思春期精神科と家族療法                                     | 森野百合子 357(3) |
| 本邦におけるナラティブ・セラピーの発展と課題——インサイダーウィットネス               | 小森康永 362(3)  |
| ソリューション・フォーカスト・アプローチのこれまでとこれから——極私的に見て，状況的に見て      | 阿部幸弘 368(3)  |
| 家族療法とブリーフセラピー                                      | 児島達美 372(3)  |

## 家族療法の発展における海外交流の意義

- ..... 田村 毅 379(3)  
 わたしの家族療法 ..... 東 豊 383(3)  
 〈エッセイ〉  
 家族療法を通して学んだこと ..... 遊佐安一郎 388(3)  
 これからの家族療法に期待するもの——内観療法の視点  
 から ..... 真栄城輝明 390(3)  
 家族療法家でない私にとっての「家族療法」  
 ..... 岡野憲一郎 393(3)  
 個人・家族そしてグループ ..... 北西憲二 396(3)  
 家族療法家の Doing と Being ..... 渋谷田鶴子 399(3)  
 さまざまな心理臨床現場のニーズから見た家族療法、カ  
 ップル・セラピーに対する期待と課題  
 ..... 野末武義 401(3)  
 家族療法に期待する ..... 山中康裕 403(3)

## 特集：発達障害（神経発達症）臨床の現在——精神療法をどう活かすべきか

- 発達障害臨床の現在——精神療法は何に寄与できるのか  
 ..... 齊藤万比古 481(4)  
 児童思春期における発達障害臨床——児童虐待を中心に  
 ..... 岩垂喜貴 486(4)  
 成人期における発達障害臨床——精神療法的視点から  
 ..... 青木省三 491(4)  
 自閉スペクトラム症の子どもと親の相互交流への介入  
 ..... 細金奈奈 497(4)  
 メンタライジングの観点から見た発達障害臨床——自閉  
 スペクトラムと認識の信頼 ..... 崔 炯仁 501(4)  
 発達障害臨床としての行動療法・認知行動療法  
 ..... 稲田尚子 506(4)  
 精神分析と発達障害——「分かる」ではなく「分からない」  
 世界を共に生きる精神分析的臨床 ..... 加藤隆弘 510(4)  
 教育現場に神経発達症に対する精神療法・心理療法をど  
 のように応用するか ..... 井上雅彦 516(4)  
 薬物治療と発達障害——精神療法的視点から  
 ..... 岡田 俊 521(4)  
 犯罪加害者・被害者臨床と発達障害臨床  
 ..... 野坂祐子 525(4)  
 自閉スペクトラム症と摂食症——早期介入の視点から  
 ..... 鈴木 太 530(4)  
 ひきこもりおよびインターネット依存と発達障害臨床  
 ——精神療法的視点から ..... 館農 勝 534(4)  
 統合失調症と発達障害——「自閉」のあとさき  
 ..... 清水康夫 538(4)  
 〈エッセイ〉  
 地域連携と発達障害臨床 ..... 牛島洋景 544(4)  
 神経発達症における自傷行為 ..... 川谷大治 546(4)  
 複雑性 PTSD (CPTSD) と発達障害 大江美佐里 549(4)  
 発達障害臨床におけるデイケアの意義 ..... 大嶋正浩 551(4)  
 Developmental Disorder の青年への表現療法の一例  
 ..... 山中康裕 554(4)

- 「発達障害」氾濫 ..... 神田橋條治 557(4)  
 家族および当事者としての利点を生かした発達障害の人  
 たちへの精神療法 ..... 本田秀夫 559(4)

## 特集：精神療法における治癒とは

- 精神療法における治癒とは ..... 北西憲二 645(5)  
 それぞれの学派から  
 森田療法の立場から ..... 北西憲二 646(5)  
 精神分析にとっての「治癒」 ..... 妙木浩之 652(5)  
 ユング派心理療法と治癒のイメージ ..... 豊田園子 657(5)  
 家族療法における治癒像 ..... 岩井昌也・中村伸一 662(5)  
 集団精神療法の終結と「治癒」——「治った」は自分で  
 決める ..... 田辺 等 667(5)  
 行動療法での治療の終わり方 ..... 芝田寿美男 672(5)  
 認知行動療法におけるリカバリー  
 ..... 片山奈理子・藤澤大介 677(5)  
 精神療法における治癒とは——表現療法から  
 ..... 山中康裕 682(5)  
 内観療法における“治癒”を巡って  
 ..... 真栄城輝明 686(5)  
 精神療法における治癒の意味——ソリューションの視点  
 で考える ..... 阿部幸弘 691(5)  
 臨床の現場から  
 児童臨床における治癒とは何か ..... 齊藤万比古 695(5)  
 思春期臨床における治癒とは——トラウマという視点か  
 ら見えてくるもの ..... 鷲田健二・青木省三 700(5)  
 治癒と終結 ..... 岩壁 茂 705(5)  
 ソーシャルワークにおける「治癒」とは何か？  
 ..... 福山和女 710(5)  
 〈エッセイ〉  
 「治癒」をめぐる断想 ..... 成田善弘 715(5)  
 「楽になる」と「立ち直る」こと  
 ..... 飛鳥井 望 717(5)  
 腑に落ちることば ..... 内村英幸 719(5)  
 老年期の精神療法 ..... 繁田雅弘 721(5)

## 特集：先生は大変だ——「先生たち」のメンタルヘルスを通して見えるもの

- 先生はえらいのか ..... 内田 樹 813(6)  
 「先生」のメンタルヘルス  
 教師のメンタルヘルス ..... 真金薫子 815(6)  
 教師のところが折れるとき——教師の三つのクライシス  
 ..... 松浪克文 820(6)  
 特別な支援が必要な子どもを支える親や教師たちのメン  
 タルヘルス ..... 根来秀樹 827(6)  
 「先生」の仕事に戻るとき  
 教員の復職支援 ..... 井上麻紀 832(6)  
 教師への心理療法的アプローチ ..... 松浦宏明 837(6)  
 教師のメンタルヘルス——校長との関係から見えてくる  
 こと ..... 草海由香里 841(6)  
 日本語臨床における「先生転移」——治療者が「先生逆  
 転移」を自覚し取り扱うために ..... 加藤隆弘 845(6)

## 〈エッセイ〉

- セラピストの「先生」たちから見た「先生らしさ」  
 父親崩壊以後、先生たちの行方……………妙木浩之 852(6)  
 治療関係における分断——当事者性と偶然性、根源的罪  
 悪感……………富樫公一 854(6)  
 先生が生身の人間として交流すること——あるいはでき  
 ないこと……………筒井亮太 857(6)  
 デイケアの「先生」とセラピストの「先生」  
 ……………作井浩美 859(6)  
 学校の先生がセラピストになるとき……………山中康裕 861(6)  
 森田のなかでの「先生」……………北西憲二 863(6)  
 多職種支援のなかでの「先生たち」……………東 啓悟 866(6)  
 セラピストの専門性と「自由である」こと  
 ……………長川歩美 868(6)  
 桂枝雀の「親子茶屋」における役の話……………小林 陵 870(6)  
 指導教育関係がハラスメントになってしまうとき  
 ……………涌井美和子 872(6)  
 「先生って何だろう」——先生と呼び合う共同性の特徴  
 ……………荻谷剛彦 874(6)

## 〔研究報告〕

- 精神科医療機関における集団精神療法の実施状況に関す  
 る全国調査……………田島美幸・藤澤大介・田村  
 法子・近藤裕美子・原 祐子・大嶋伸雄・岡島美朗・  
 岡田佳詠・菊地俊暁・耕野敏樹・佐藤泰憲・高橋章  
 郎・中川敦夫・中島美鈴・吉永尚紀・大野 裕 563(4)  
 虐待再発防止プログラムにトラウマの心理教育を組み込  
 む——その工夫と留意点……………佐々木大樹 723(5)  
 精神科デイケアにおける集団活動と個別面接をつなぐ  
 試み——社交不安症患者の回復過程を通して  
 ……………谷 英俊・津川秀夫 877(6)

## 〔症例研究〕

- コロナ禍における強迫症の中年期女性の心理療法治療  
 ——遠隔認知行動療法の実践を通しての考察  
 ……………永田 忍 407(3)  
 複雑性 PTSD への理解不足により児童養護施設から措  
 置変更となった事例……………高橋裕之 572(4)  
 転移の多面的コンステレーションに関する一考察——乳  
 幼児同伴面接から……………太田百合子 732(5)

## 〔資料〕

- コロナ禍の遠隔心理支援における心理臨床家の工夫に関  
 する探索的研究  
 ……………木村悠人・狐塚貴博・渡邊素子・中西和紀 742(5)  
 統合失調症患者の就学支援の適用と有効例の条件  
 ……………武田隆綱 886(6)

## 〔紹介〕

- ローウェンフェルドのプライマリーシステム・プロトシ  
 ステム、セカンダリーシステム、E の理論について  
 ……………宮崎健祐 894(6)

## 〔文献紹介〕

- ローウェンフェルドのワールドテクニク——箱庭療法  
 のルーツとして、あるいは小児の非言語的な精神療法  
 の一つとして……………宮崎健祐 416(3)  
 新しい Freud 英訳テキスト『改訂スタンダード・エデ  
 イション (RSE)』の紹介……………佐渡忠洋 903(6)

## 〔シリーズ／ケースの見方・考え方〕

- 46-1：不登校児のための居場所づくり——小学校内「Z  
 室」での実践……………西村 馨・大川満里子 581(4)  
 46-2：会社でうまくいかないことを主訴に来談した女性  
 との面接過程——共感的承認の難しさ  
 ……………西村 馨・宮澤順子 749(5)  
 46-3：不登校の女子中学生のスクールカウンセリング  
 ——メンタライジングを目指して  
 ……………西村 馨・木村能成 910(6)

## 〔連載〕

- 古典症例に学ぶ 第 12 回 メダルト・ボスによる体質  
 的同性愛女性の症例クロディーヌ——現代的観点から  
 の再考……………角田京子 255(2)  
 古典症例に学ぶ 第 13 回 フロイトにとつてのフロイト  
 ——大学教育を受けた 38 歳の男性  
 ……………新宮一成 589(4)  
 古典症例に学ぶ 第 14 回 自閉症の「第一例」ドナル  
 ド・トリプレットをめぐる……………丹治和世 757(5)  
 古典症例に学ぶ 第 15 回 「エス」誕生の瞬間——グロ  
 デックの症例 G 嬢……………野間俊一 917(6)  
 精神科診療の見立てと精神療法を、改めて考えてみよう  
 第 6 回 シャルコーとその時代⑤——18 世紀末～19  
 世紀半ばのフランス精神医学（下）  
 ……………原田誠一・神田橋條治・中尾智博・高木俊介・  
 岸本寛史・滝上紘之・八木剛平 89(1)  
 精神科診療の見立てと精神療法を、改めて考えてみよう  
 第 7 回 19 世紀末における外傷性ヒステリー概念の  
 展開——ジャネとフロイト①  
 ……………原田誠一・神田橋條治・中尾智博・高木俊介・  
 岸本寛史・滝上紘之・八木剛平 262(2)  
 精神科診療の見立てと精神療法を、改めて考えてみよう  
 第 8 回 19 世紀末における外傷性ヒステリー概念の  
 展開——ジャネとフロイト②  
 ……………原田誠一・神田橋條治・中尾智博・高木俊介・  
 岸本寛史・滝上紘之・八木剛平 425(3)  
 精神科診療の見立てと精神療法を、改めて考えてみよう  
 第 9 回 19 世紀末における外傷性ヒステリー概念の  
 展開——ジャネとフロイト③  
 ……………原田誠一・神田橋條治・中尾智博・高木俊介・  
 岸本寛史・滝上紘之・八木剛平 596(4)  
 精神科診療の見立てと精神療法を、改めて考えてみよう  
 第 10 回 19 世紀末における外傷性ヒステリー概念の  
 展開——ジャネとフロイト④  
 ……………原田誠一・神田橋條治・中尾智博・高木俊介・

- 岸本寛史・滝上紘之・八木剛平 763(5)  
精神科診療の見立てと精神療法を、改めて考えてみよう  
第11回 啓蒙思想、ロマン主義とドイツ精神医学①  
——啓蒙思想と科学革命の関連  
……………原田誠一・神田橋條治・中尾智博・高木俊介・  
岸本寛史・滝上紘之・八木剛平 922(6)  
こころのフューチャー・デザイン——「未来人」からみた  
現代の精神医学 第1回 「フューチャー・デザイン」  
とは？——経済学から精神医学を展望する  
……………加藤隆弘 102(1)  
こころのフューチャー・デザイン——「未来人」からみた  
現代の精神医学 第2回 「楽観バイアス」を精神  
分析と経済学で考える ……………加藤隆弘 274(2)  
こころのフューチャー・デザイン——「未来人」からみた  
現代の精神医学 第3回 フューチャー・デザインの  
方法①——過去にタイムスリップするパストデザイン  
……………加藤隆弘 438(3)  
こころのフューチャー・デザイン——「未来人」からみた  
現代の精神医学 第4回 フューチャー・デザインの  
方法②未来人になる——22世紀の超デジタル社会  
から「発達障害」ブームを展望する  
……………加藤隆弘 610(4)  
こころのフューチャー・デザイン——「未来人」からみた  
現代の精神医学 第5回 パストデザインで「心脳  
問題」を再考する——精神疾患は心の病気か？ 脳の  
病気か？ ……………加藤隆弘 776(5)  
こころのフューチャー・デザイン——「未来人」からみた  
現代の精神医学 第6回 フューチャー・デザインの  
方法③「今を疑う」逆説的思考——脳の中の火付け  
細胞ミクログリアと「死の欲動」……………加藤隆弘 937(6)

# [特別寄稿]

- [特別寄稿Ⅰ] 異常危機の問題をめぐるクーレンカンブ  
とコンラートの誌上論争 ……………安藤嘉朗 227(2)  
[特別寄稿Ⅱ] クーレンカンブ, C vs コンラート, K の  
「誌上論争」から考えたことと、ギーゲリッヒ, W  
「夢論」の訳者発言への論争……………山中康裕 235(2)

# [対談]

- 「いま」の心理療法を考える  
……………成田善弘・上田勝久 241(2)

# [海外文献抄録]

- 虎の門病院……………128(1)  
福岡大学……………296(2)  
京都大学……………461(3)  
名古屋大学……………959(6)

# [Review of Books Abroad]

- Jon Kabat-Zinn : Mindfulness Meditation for Pain Relief :  
Practices to reclaim your body and your life  
……………小原真知子 126(1)

- Marsha M. Linehan : Building a Life Worth Living : A  
memoir ……………井合真海子 294(2)  
Graham Music : Respark : Igniting Hope and Joy after  
Trauma and Depression ……………山口貴史 458(3)  
Bill Barnes, Sheila Ernst & Keith Hyde : An  
Introduction to Groupwork : A group-analytic  
perspective ……………関 百合 631(4)  
Farhad Dalal : Taking the Group Seriously : Towards a  
post-Foulkesian group analytic theory  
……………柴田応介 800(5)  
Edit by Mark Solms : The Revised Standard Edition of  
the Complete Psychological Works of Sigmund Freud  
(original translation by James Strachey, revised,  
supplemented and edited by Mark Solms)  
……………岸本寛史 957(6)

# [書評]

- アロン・T・ベック, 他著「リカバリーを目指す認知  
療法——重篤なメンタルヘルス状態からの再起」  
……………白石裕子 109(1)  
エドワード・R・ワトキンス著「うつ病の反すう焦点化  
認知行動療法」……………大谷 彰 110(1)  
ラファエル・E. ロベス・コルボ著「ピオン事典」  
……………井上果子 111(1)  
高橋幸男, 他著「認知症の人のこころを読み解く——ケ  
アに生かす精神病理」……………繁田雅弘 112(1)  
乾 吉佑監修「スモールステップで学ぶ力動的な心理ア  
セスメントワークブック——出会いからフィードバッ  
クまで」……………傍田彩也子 113(1)  
東畑閑人著「ふつうの相談」……………下山晴彦 113(1)  
ウィリアム・J・クナウス著「怒りを適切にコントロール  
する認知行動療法ワークブック——少しずつ解決に  
近づくエクササイズ集」……………明智龍男 114(1)  
中井久夫著／高 宜良編「中井久夫 拾遺」  
……………滝川一廣 115(1)  
村瀬嘉代子著「クライアントの側からみた心理臨床——  
治療者と患者は、大切な事実をどう分かちあうか」  
……………原田誠一 116(1)  
岩壁 茂, 他編「臨床心理学スタンダードテキスト」  
……………神庭重信 118(1)  
平島奈津子著「〈効果的な〉精神科面接——力動的に診  
るということ」……………鈴木純一 118(1)  
ジョージ・S・エヴァリー, 他著「サイコロジカル・フ  
ァーストエイド——ジョンズホプキンス・ガイド」  
……………樋口輝彦 119(1)  
ジェームズ・ロック, 他著「神経性やせ症治療マニユ  
アル 第2版——家族をベースとする治療」  
……………大森美湖 279(2)  
ジョナサン・S・アブラモウィッツ, 他著「不安へのエ  
クスポージャー療法——原則と実践」  
……………林 潤一郎 280(2)  
青木省三著「精神科医という仕事——日常臨床の精神療



- 法」……………山中康裕 281(2)
- 一般社団法人 日本行動分析学会編「新装版 ことばと行動——言語の基礎から臨床まで」……………原井宏明 281(2)
- 岩倉 拓, 他著「精神分析的サポーターセラピー (POST) 入門」……………秋田恭子 283(2)
- 近藤雄生 (聞き手), 岸本寛史著「いたみを抱えた人の話を聞く」……………原田誠一 283(2)
- 下山晴彦編集「事例検討会で学ぶケース・フォーミュレーション——新たな心理支援の発展に向けて」……………平林直次 284(2)
- アラン・N・ショア著「無意識の発達——精神療法, アタッチメント, 神経科学の融合」……………宮崎 愛 285(2)
- ジンデル・シーガル, 他著「マインドフルネス認知療法 [原著第2版] ——うつのための基礎と実践」……………佐渡充洋 286(2)
- 白井聖子著「〈自己〉と〈他者〉の心理療法——自閉スペクトラム症と統合失調症スペクトラム障害の精神病理」……………成田善弘 287(2)
- 小森康永, 他著「ナラティブと情動——身体に根差した会話をもとめて」……………羽鳥乃路 288(2)
- ガリト・アトラス著「欲望の謎——精神分析は性, 愛, そして文化多様性にどう向き合うのか」……………関 真粧美 443(3)
- アントニーノ・フェロ著「物語と治療としての精神分析」……………鈴木智美 444(3)
- 中村和彦編「子どものこころの診療のコツ 研究のコツ」……………宇佐美政英 444(3)
- ルディ・ヴェルモート著「リーディング・ピオン」……………小林 陵 445 (3)
- フランク・E・ヨーマンズ, 他著「境界性パーソナリティ障害のための転移焦点化精神療法——クリニカル・ガイド」……………林 直樹 446(3)
- 三上謙一著「臨床に活かすアタッチメント」……………岩垂喜貴 447(3)
- 加藤隆弘著「逃げるが勝ちの心得——精神科医がすすめる『うつ卒』と幸せなひきこもりライフ」……………館農 勝 448(3)
- 岩垂喜貴編著「ラウンドテーブルトーク 児童精神科医という仕事——臨床の過去・現在, そして明日を語る」……………八木淳子 448(3)
- 宮西照夫著「呪医と PTSD と幻覚キノコの医療人類学——マヤの伝統医療とトラウマケア」……………原田誠一 449(3)
- ニック・パットマン, 他編「サイコシスのためのオープンダイアログ——対話・関係性・意味を重視する精神保健サービスの組織化」……………岩井圭司 450(3)
- スティーブン・A・ミッチェル著「関係精神分析の技法論——分析過程と相互交流」……………杉原保史 451(3)
- 成田善弘著「成田善弘 心理療法を語る——『まっすぐに』患者と向きあう」……………藤原勝紀 617(4)
- きむらひとみ著「ステップファミリーの子どもとしての私の物語——親の離婚・再婚でできた『ギクシャク家族』が『ふんわり家族』になるまで」……………加藤郁子 618(4)
- ドゥニーズ・ドゥ・カスティエラ著「新装版 バウムテスト活用マニュアル——精神症状と問題行動の評価」……………村上 貢 618(4)
- クレール・オベール著「シュベルトの手当て」……………長岡由紀子 619(4)
- ジュディス・オルロフ著「感じやすいあなたのためのスピリチュアル・セルフケア——エンパスとして豊かに生きていく」……………明橋大二 620(4)
- 原田憲一著「意識障害を診わける」……………山中康裕 621(4)
- 吉田光爾, 他編著「福祉職のための精神・知的・発達障害者アウトリーチ実践ガイド——生活訓練・自立生活アシスタントの現場から」……………福山和女 621(4)
- 志岐靖彦著「はたらくみんなのニューロダイバーシティ——対話からはじまる『発達特性』あふれる職場改革論」……………村上伸治 622(4)
- 小山文彦著「ココロブルーに効く話——精神科医が出会った30のストーリー」……………大野 裕 623(4)
- ラス・ハリス著「よくわかる ACT (アクセプタンス&コミットメント・セラピー) <改訂第2版> 上・下——明日から使える ACT 入門」……………熊野宏昭 624(4)
- エイドリアン・ウォード, 他編「治療共同体アプローチ——心に深い傷を負った子どもたちのために」……………笠原麻里 625(4)
- 塚本千秋 文, 尾上太一 写真「思春期」……………滝川一廣 783(5)
- 芦高勇気, 他著「職場がうまくいかないときの心理学100——チームリーダーにおくるマネジメント・ガイド」……………米村高穂 784(5)
- 高橋靖恵, 他編「心理臨床に生きるスーパーヴィジョン——その発展と実践」……………若佐美奈子 785(5)
- 増野 肇, 他著「サイコドラマをはじめよう——人生を豊かにする増野式サイコドラマ」……………高橋美紀 785(5)
- 古莊純一著「境界知能——教室からも福祉からも見落とされる知的ボーダーの人たち」……………北 洋輔 786(5)
- 岩壁 茂監修, 工藤由佳著「愛着トラウマケアガイド——共感と承認を超えて」……………山口貴史 787(5)
- ハンナ・ルイーズ・ベルチャー著「ASD とカモフラージュ——CAT - Q からわかること」神尾陽子 788(5)
- 黒木俊秀著「微視的精神医学私記——黒木俊秀著作選集」……………内海 健 789(5)
- ドナ M. スダック, 他著「認知行動療法の教育とスーパーヴィジョン」……………松岡 潤 789(5)
- C・G・ユング著「パーソナリティの発達」……………山中康裕 790(5)
- 青木真理著「スクールカウンセラーのための仕事術——はじめて学校で働くための手引き」…増田温子 791(5)
- 下平美智代著「協働するメンタルヘルス——“会う・聴く・共に動く”多職種連携/チーム支援」……………福山和女 792(5)
- 大前 晋編「笠原嘉の『小精神療法』小史——『苦悩す

|                                                           |             |
|-----------------------------------------------------------|-------------|
| る者への愛ないしは畏敬』から『病後の生活史へ』                                   |             |
| .....江口重幸 793(5)                                          |             |
| エレイン・N・アーロン著「HSPと心理療法——繊細なクライアントとの治療効果を向上させるために」          |             |
| .....平野真理 943(6)                                          |             |
| 大森哲郎著「本人・家族のための精神医学ハンドブック——こころの病気のやさしい教科書」                |             |
| .....原田誠一 944(6)                                          |             |
| 辻井正次監修「発達障害支援者のための標準テキスト——幼児期から成人のアセスメントと支援のポイント」         |             |
| .....吉川 徹 945(6)                                          |             |
| 北山 修, 他編『『川』の字』文化の深層心理学——親子の添い寝と『見るな』の禁止』                 |             |
| .....山中康裕 945(6)                                          |             |
| 神田橋條治著「精神科治療のコツ」                                          |             |
| .....黒木俊秀 946(6)                                          |             |
| クリストファー・K・ガーマー著「マインドフルネスそしてセルフ・コンパッションへ——苦しい思考や感情から自由になる」 |             |
| .....中野美奈 947(6)                                          |             |
| 吉田敬子著「[新訂増補] 母子と家族への援助——妊産婦のストレスケアと子どもの育ち」                |             |
| .....山下紀子 948(6)                                          |             |
| タマル・ブラック著「子どものための ACT 実践ガイド」                              |             |
| .....松丸未来 949(6)                                          |             |
| トゥルーディ・ロソー, 他編「メンタライジングによる青年への支援——MBT-A の実践ガイド」           |             |
| .....東 啓悟 950(6)                                          |             |
| 横道 誠, 他著「ケアする対話——この世界を自由にするポリフォニック・ダイアログ」                 |             |
| .....高木俊介 951(6)                                          |             |
| 〈映画評〉                                                     |             |
| ウェルカム トゥ グリ                                               | 山中康裕 122(1) |
| PERFECT DAYS                                              | 山中康裕 454(3) |
| ゴールデンカムイ                                                  | 山中康裕 627(4) |
| TAR / ター                                                  | 山中康裕 795(5) |
| オッペンハイマー (原題: Oppenheimer)                                |             |
| .....山中康裕 953(6)                                          |             |
| 〈演劇評〉                                                     |             |
| 三代猿之助四十八撰の内『新・水滸伝』                                        |             |
| .....山中康裕 290(2)                                          |             |

## 〔学会の印象〕

|                         |                   |
|-------------------------|-------------------|
| 第 20 回日本うつ病学会総会         | ..... 蔭山正子 132(1) |
| 日本思春期青年期精神医学会第 35 回大会   |                   |
| ..... 久保浩明 132(1)       |                   |
| 第 22 回日本トラウマティック・ストレス学会 |                   |
| ..... 岩井圭司 133(1)       |                   |
| 日本精神分析的な精神医学会第 21 回大会   |                   |
| ..... 江崎幸生 134(1)       |                   |
| 第 26 回日本摂食障害学会学術集会      |                   |
| ..... 西園 マーハ文 300(2)    |                   |
| 日本心理臨床学会第 42 回大会        | ..... 吉川真理 300(2) |

|                                |                   |
|--------------------------------|-------------------|
| 第 40 回日本家族療法学会                 | ..... 藪垣 将 301(2) |
| 日本認知・行動療法学会第 49 回大会            |                   |
| ..... 金澤潤一郎 302(2)             |                   |
| 日本精神分析学会第 69 回大会               | ..... 原田康平 466(3) |
| 第 64 回日本児童青年精神医学会総会            | ..... 岩垂喜貴 467(3) |
| 第 23 回日本認知療法・認知行動療法学会          |                   |
| ..... 岡田佳詠 467(3)              |                   |
| 第 40 回日本森田療法学会                 | ..... 松浦隆信 468(3) |
| 8th Asian CBT Congress         | ..... 笹川智子 633(4) |
| 日本集団精神療法学会第 41 回学術大会           |                   |
| ..... 稲村 茂 633(4)              |                   |
| 日本精神分析協会第 42 回学術大会             | ..... 加茂聡子 966(6) |
| 第 120 回日本精神神経学会学術総会            | ..... 玉田 有 966(6) |
| 日本不安症学会／日本認知療法・認知行動療法学会 (合同開催) | ..... 佐渡充洋 967(6) |
| 第 21 回日本うつ病学会総会                | ..... 山内常生 968(6) |

## 〔追悼〕

|            |                   |
|------------|-------------------|
| 追悼・岩崎徹也先生  | ..... 相田信男 137(1) |
| 馬場謙一先生を偲んで | ..... 井上果子 138(1) |
| 山崎晃資先生を偲んで | ..... 松田文雄 139(1) |

## 〔患者から学ぶ〕

|                             |                    |
|-----------------------------|--------------------|
| 絵画を観るように患者を診る               | ..... 小野和哉 123(1)  |
| 家族のリソース, 会話の力               | ..... 坂本真佐哉 291(2) |
| 臨床の場から学ぶ                    | ..... 熊崎 努 455(3)  |
| 「アートに救われることはなかった」           |                    |
| ..... 田中伸一郎 628(4)          |                    |
| 臨床を支えるもの                    | ..... 朝枝清子 797(5)  |
| 希死念慮の臨床心理面接においてクライアントから学ぶこと | ..... 秋田恭子 954(6)  |

## 〔てらべいあ〕

|                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 孤独感について           | ..... 河野恵理 53(1)  |
| アイデンティティ形成を支援すること |                   |
| ..... 近藤直司 219(2) |                   |
| 研修医から「楽観」を学ぶ      | ..... 青木省三 367(3) |
| マインドフルネスと地ビール     | ..... 亀岡智美 561(4) |
| 広島における精神分析の歴史     | ..... 皆川英明 709(5) |
| 「心のせいにされる」こと      | ..... 北村婦美 831(6) |

## 〔かたるしず〕

|       |        |
|-------|--------|
| ..... | 136(1) |
| ..... | 304(2) |
| ..... | 470(3) |
| ..... | 635(4) |
| ..... | 803(5) |
| ..... | 969(6) |